

さいたま市東岩槻周辺地区 大規模雨水処理施設整備事業計画

(様式1)

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	本計画の対象とする東岩槻周辺地区の南部では、周辺より低地となっている箇所を中心に浸水被害が発生しており、平成25年の台風26号や平成27年9月の台風18号等では床上浸水16戸及び床下浸水35戸の浸水被害が発生した。同様に、区域北部の工業団地も雨水幹線沿線の低地部や水路が整備されていない地区で道路冠水の被害が発生している。これらの低地部では、放流先河川である一級河川古隅田川が未改修でありHWLが高いことから、雨水幹線の水位上昇時に背水の影響による浸水が発生する懸念がある。 よって本計画は、岩槻諏訪公園内の雨水貯留施設が既存雨水幹線の水位を低下させることにより、今後整備予定の枝線からの雨水流入を向上させ、浸水被害の軽減を図ることを目的とし、加えて、古隅田川の放流制限に対応するものである。なお、当該地区は、内水浸水シミュレーションによる浸水被害が想定される地区であり、地域防災計画に位置づけられた避難場所及び高齢者・障害者等要配慮者関連施設を有した地区である。そのため、「社会資本整備総合交付金交付要綱」下水道浸水被害軽減総合事業「2. ①（エ） ii」に該当する。
整備目標	① 本計画における対象降雨 ・本計画における対象降雨：81.0mm/h ・目標とする理由：甚大な災害の未然防止の観点から、本市域にて観測された最大降雨を採用する。 ・ハード整備による整備水準の目標：55.5mm/h ②目標設定 i) 生命の保護の観点：当該地区に存在する避難所及び高齢者・障害者等要配慮者関連施設及び家屋における床上浸水（浸水深 45cm 以上）を防止する。 ii) 都市機能の確保の観点：当該区域の主要道路における道路冠水を軽減する。 iii) 個人財産の保護の観点：家屋の床上浸水（浸水深 45cm 以上）を防止する。 iv) その他：特になし ② ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について i) ハード対策 施設整備により 55.5mm/h の降雨において浸水被害を防止することを目的とする。 ii) ソフト対策及び自助 施設整備で対象とする降雨量を上回る既往最大降雨 81.0mm/h の降雨において下水道管理者による土嚢の配布、さいたま市浸水（内水）防災マップによる情報提供等の対策を実施することにより、当該地区における被害の軽減を図る。

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	有 （令和 3 年 4 月改訂及び公表済み） 策定予定（令和 年 月末策定予定）			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	- 雨水調整池の整備 貯留量 17,900m³ - 雨水管渠の整備 延長 2,665m
			下水道管理者以外	
		ソフト対策	下水道管理者	- 上囊の配布及び効果的な活用方法についての情報提供 「開発行為の認可等に関する指針」を用いた雨水流出抑制の指導 - 各戸雨水浸透施設設置の指導及びアピール - スクリーンの点検及び清掃 - さいたま市浸水（内水）防災マップの作成及び公表
			下水道管理者以外	- 水防訓練の実施 - 降雨量及び河川水位の情報収集 - 市内気象情報及び降雨量、主要幹線水位等をリアルタイム映像でホームページにて公開（水位情報システム） - 市報に防災関連記事の掲載 - 市内転入者へ防災ガイドブックの配布 - 洪水ハザードマップの作成及び公表
	自助	ハード対策		- 防災資器材の備蓄（市の自主防災組織補助金制度を活用） - 土囊の設置
		ソフト対策		水防訓練や自主防災組織防災訓練の実施、土囊設置体験の実施（市の自主防災組織補助金制度を活用）

備考）事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記述

また、下水道管理者以外が行う施策については、道路管理者など実施主体、制度要綱等を具体的に記述

＊下水道浸水被害軽減総合事業に該当する場合、既存の施設調書を別途添付すること

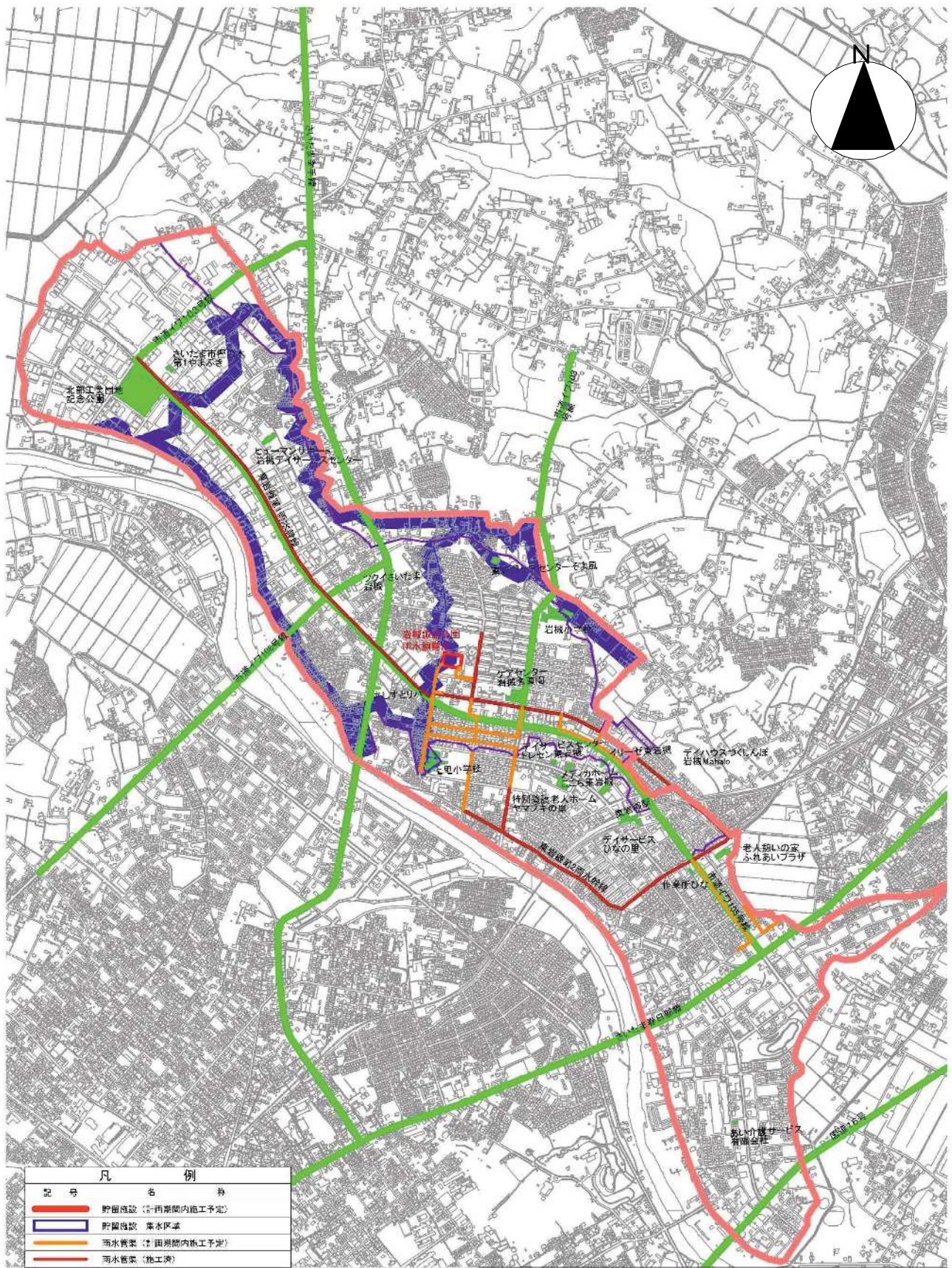
年度計画（百万円）

名称	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
岩槻諏訪公園調整池	1,820	1,500	1,460	0	4,780
雨水管渠	101	172	214	120	607
計	1,921	1,672	1,674	120	5,387

備考）事業内容に位置づけた施設について年割額（事業費）を記述。

整備済のものは含めない。

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<事業評価の内容> 被害額：年あたり約 272 百万円が削減される。 B／C：1.05 経済的内部収益率：4.222% ※「下水道事業における費用便益分析マニュアル」に基づき算定 <その他の定量的な効果> 浸水被害軽減率＝対策後に軽減される浸水面積／対策前の浸水面積 $= 22,500 \text{ m}^2 / 41,800 \text{ m}^2 = 54\%$ ※ 算出に用いる浸水面積は、市民の命や財産を守る観点から、浸水深が 20cm を超える「床上浸水」及び「床下浸水」の面積の合計を用いる（浸水深が 20cm 未満の道路冠水は除外する） ソフト対策、自助の整備効果等： 既往最大降雨 81.0mm/h に対し、効果的な情報提供（水位情報システムによる情報提供）、土嚢の配布や設置等の対策を併せて行うことにより、当該地区の高齢者・障害者等要配慮者関連施設及び家屋における床上浸水（浸水深 45cm 以上）を防止し、被害を軽減できる。
放流先河川との調整状況	本事業は、放流先河川の許容放流量に基づいた貯留施設の整備を行うものであるため、放流先河川との整合はとれている。
その他	特になし



凡 例	
記 号	名 称
	貯留施設（計画期間内施工予定）
	貯留施設 集水区域
	雨水管渠（計画期間内施工予定）
	雨水管渠（施工済）
	計画対象区域界
	ターミナル駅
	地域防災計画に位置付けられた施設（緊急避難道路、防災拠点等）
	高齢者・障害者等受援者関連施設

事業名	さいたま市東岩槻周辺地区大規模雨水処理施設整備事業	
縮尺	1:12,500	

さいたま市東岩槻周辺地区大規模雨水処理施設整備事業計画

- 近年の台風やゲリラ豪雨などの集中豪雨により、東岩槻周辺地区の雨水幹線沿線の低地部や水路が整備されていない地区などで、浸水被害が頻繁に発生。
- このため、さいたま市東岩槻周辺地区大規模雨水処理施設整備事業により、岩槻諏訪公園内に雨水調整池の整備、周辺の雨水管渠の整備を行い、雨水幹線の水位を低下させることで浸水被害を軽減。

位置図



事業実施箇所

平成21年10月台風18号
による被害状況

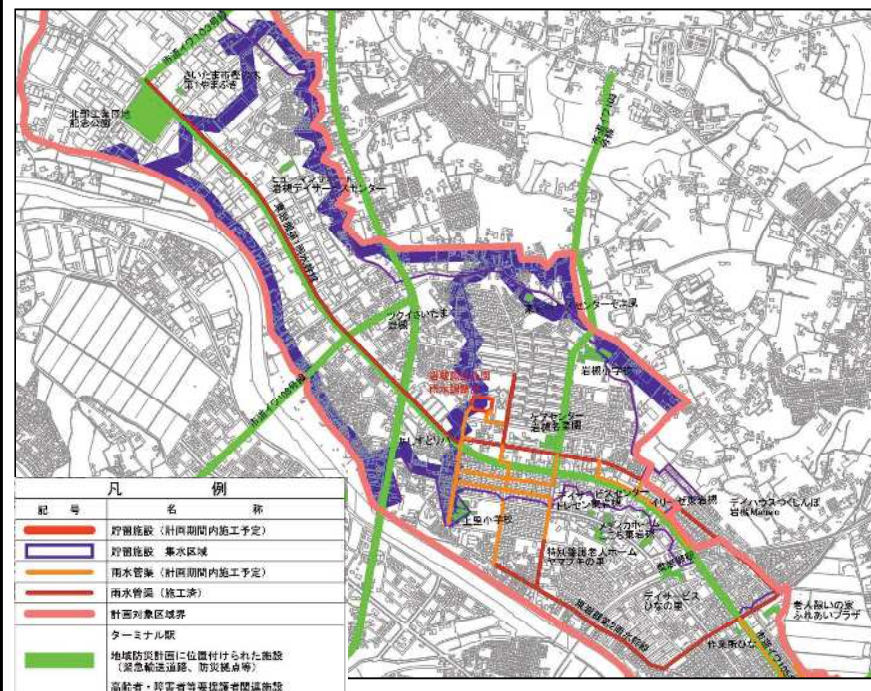


床上浸水: 5戸、床下浸水: 9戸

事業概要

- 事業内容 : 雨水調整池17,900m³、雨水管渠2,665m
- 全体事業費 : 約54億円
- 事業期間 : 令和2年度～令和5年度

<工事箇所図>



事業の効果

5年確率降雨(55.5mm/h)における家屋の浸水面積が約半減。

<浸水シミュレーションによる5年確率降雨の浸水被害軽減効果>
 床上浸水面積 800m² → 200m²
 床下浸水面積 41,000m² → 19,100m²

B/C=1.05

■整備効果

事業実施により家屋の浸水面積を軽減

